

令和7年度 第2回焼津市図書館協議会会議録

- 1 開催日時 令和8年3月13日（金）午後3時～午後3時58分
- 2 開催場所 焼津市立焼津図書館研修室
- 3 公開可否 可
- 4 傍聴者 なし
- 5 出席者 (委員) (事務局)
- | | |
|----------|---------------|
| 伊久美奈保子委員 | 平田 図書課長 |
| 岩松 晴佳 委員 | 山本 焼津図書館担当係長 |
| 内田 記子 委員 | 鈴木 大井川図書館担当係長 |
| 岡本 康夫 委員 | 増田 焼津図書館担当主査 |
| 勝又 真知 委員 | 鈴木 大井川図書館担当主査 |
| 久野 貴子 委員 | |
| 増井 悟 委員 | |
| 村松 晶子 委員 | |
| 藪崎智世子 委員 | |
- 欠席者 (委員)
なし

6 次 第

- (1) 開会
- (2) 会長あいさつ
- (3) 議事
 - ①令和7年度図書館利用状況及び図書館事業報告について
 - ②令和8年度図書館事業計画について
- (4) その他
- (5) 閉会

7 内 容 (要約)

- (1)開会
事務局：(開会のあいさつ)
- (2)会長あいさつ
- (3) 議事

事務局：それでは、ここから議事に入らせていただきます。只今出席されている委員は、9名中8名で委員の過半数に達しており、焼津市図書館条例施行規則（第14条第2項）の規定により、本会議は成立しております。会議の終了時間は、概ね16時頃を目安とさせていただきます。なお、委員の皆様が発言につきましては、会議録として焼津市立図書館のホームページに掲載されますことを、ご了解

いただきますようお願い致します。それでは、会長が会議の議長となりますので、ここからの進行は岡本会長にお願い致します。

①令和7年度図書館利用状況及び図書館事業報告について

議長：それでは議事にはいります。次第3の(1)「令和7年度 図書館利用状況及び図書館事業報告について」事務局の説明を求めます。

事務局：それでは、令和7年度の焼津図書館・地域交流センター図書室の利用状況について報告いたします。お手元の資料1ページをご覧ください。初めに、(1) 図書館ホームページアクセス件数についてですが、令和7年4月から令和8年1月末までの期間で、126,525件となっております。

次に、(2) 図書館の利用状況をご覧ください。全館合計の個人登録者数は、62,983人です。焼津図書館の利用状況については①の表をご覧ください。開館日数は243日、貸出者数は86,614人、貸出点数は307,085点、1日平均貸出者数は356人、1日平均貸出点数は1,264点、来館者数は118,706人です。前年比につきましては右端の「比較」の列をご覧ください。貸出者数は昨年並み、貸出点数はやや減少、来館者数はやや増加となりました。②大井川図書館分は、後程、大井川図書館担当係長からご報告いたします。地域交流センター図書室の利用状況については、次の(3)をご覧ください。令和7年度の貸出者数は10,545人、貸出点数は25,714点です。前年度と比較しますと、貸出者数、貸出点数ともにやや増となっております。地域交流センター図書室の蔵書については、担当司書が利用状況を踏まえて配本・資料の入れ替え、図書室内の本の配置を利用状況に合わせて工夫することで、地域の読書活動の推進を図っています。次に、資料2ページをご覧ください。(4) 自動貸出機の利用状況についてです。令和7年度の自動貸出機での貸出状況は、焼津図書館では48%、大井川図書館では57%の方にご利用いただいています。令和6年度に実施した利用促進キャンペーンや、継続的に行っている自動貸出機の利用の呼びかけもあり、利用割合の増加がみられました。焼津図書館・地域交流センター図書室の利用状況については以上です。

大井川図書館担当係長の鈴木です。よろしくお願ひいたします。着座にて説明させていただきます。まず、令和7年度の大井川図書館分の利用状況についてご報告いたします。資料は1ページとなります。(2) 図書館の利用状況、②の大井川図書館の表をご覧ください。開館日数は244日、貸出者数は34,710人、貸出点数は139,294点、1日平均貸出者数は142人、1日平均貸出点数は571点、来館者数は55,217人でした。前年比につきましては右端の「比較」の列をご覧ください。貸出者数、貸出点数、来館者数ともに、増加しております。この状況については、ドラマで話題になった小泉八雲関連の講座や展示、子どもや家族向けのワークショップや他館との共催イベントなどを開催したことにより、全体的に増加したものと思われます。他館との共催イベントは、地域交流センターや大井川福祉センターでも行っており、これは来館者数には直接反映されませんが、普段図書館を利用されない方にも存在を思い出していただくきっかけになったのではと思います。以上です。

次に、令和7年度の事業について報告いたします。資料3ページの2から、5ページをご覧ください。初めに焼津図書館から報告いたします。それぞれの事業の参加者数については1月末現在で集計しています。焼津図書館では、子ども向けの講座・事業を34件企画いたしました。その中で主なものを説明します。10番の「おはなし会後の工作」ですが、こちらは今年度初めての実施となります。毎週土曜日に行っているおはなし会に来てくれた子ども達に、うちわや恵方巻型の飾りといった、記念日や季節に応じた工作をする機会を提供しました。工作を楽しみに参加する家族も多く見られ、おはなし会の参加人数の増加に貢献しました。次に19番の「仮装で図書館パーティー！」で

す。おはなしコーナーを中心にハロウィンの飾りつけを行い、子ども達にハロウィンの仮装をしてもらい、ハロウィンに関するおはなし会を、楽しんでもらいました。初めての事業でしたが、キャンセル待ちが出るほどのお申込みをいただきました。21番の「としょかんおはなしフェスタ」ですが、こちらは例年実施している事業となります。普段のおはなし会よりも少し時間が長く、また内容も充実させたおはなし会となっております。文化センターGW合同イベントと併せて開催し、おはなし会の前に図書館入口前にやいちゃんが登場したり、おはなし会に歴史民俗資料館の「やまどん」が登場するなどして、たくさんの方にご参加いただきました。この他にも、担当職員の工夫と努力により、子ども向けの事業を多数開催しました。次に、資料の4ページをご覧ください。

4ページ35番から5ページ49番までは、大人向けの講座・事業になります。大人向けの講座・事業は15件企画しました。また、その他として50番、ブックリサイクルを実施いたしました。

39番「江戸時代はすごい！日本や日本人の原点がここにある！？」は、現代に大きな影響を与えた江戸時代が、今の日本であたりまえとなっているものの起源について学ぶ講座です。大変人気のある講師の講座であり、たくさんの方からお申込みをいただきました。次に42番「スマホ写真教室」です。この講座は、スマートフォンで写真撮影をする際のコツを実際に撮影しながら学ぶものになります。実際に撮影を行いながらの講義となったため、定員は6人となっておりますが、非常に好評で、また開催してほしいとお声もいただいたことから、3月に再度開催を予定しております。

次の、資料5ページをご覧ください。最後になりますが、45番「日本における小泉八雲～八雲作品の受容を辿る～」です。西洋で出版された小泉八雲の作品が、日本でどのように受け入れられたかを学ぶ講座でした。小泉八雲を研究されている方を講師にお招きし、内容の濃い講座となりました。NHKの朝の連続ドラマで描かれている人物であることもあり、こちらも多くのお申し込みをいただいたところです。焼津図書館については以上です。

続きまして、大井川図書館及び両館共通事業についてご報告いたします。資料6ページをご覧ください。大井川図書館では、子ども向けの講座・事業を25件企画し、24件実施いたしました。その中で新しい取り組みについてご説明します。19番の「大井川フェアワークショップ 大車輪をつくるたいそうくんを作ろう」は、18番の「ポップアップカードを作ろう」と同時に開催しました。科学あそびの講師2名が、紙コップやストローなどを組み合わせて動くおもちゃを子どもたちと一緒に作製し、読み聞かせやブックトークを行いました。資料7ページの上から七つめ、26番からは、大人向けの講座・事業となります。人向けの講座・事業は8件企画し、8件実施いたしました。その中で新しい取り組みについて幾つかご説明します。30番の「バリアフリー手袋人形製作講座」は、29番の「読書の楽しみを伝えるバリアフリー絵本」展の初日に開催しました。「バリアフリー絵本」展は、昨年度同様、静岡福祉大学附属図書館との共催で行いましたが、今年度はバリアフリー絵本のほか、「バリアフリー手袋人形講座」の講師が作製した手袋人形や布絵本も多数お借りして展示し、講座ではその作り方や使い方を学ぶことができました。参加人数は予定していた定員より少なく、告知の難しさも感じましたが、参加された方からは「楽しく作れた。子どもたちの前でも是非うたって使いたい」など、全員から「参加してよかった」という評価をいただきました。32番、「小泉セツと八雲の生涯～図書館資料からひも解く物語～」は、静岡福祉大学附属図書館の進藤令子さんを講師に迎えて開催しました。放送中のドラマの内容とも結び付けながら、八雲の作品や焼津との関わり、家族などについてお話しいただいたほか、貴重な資料も展示して、参加者は実際に触れることもできました。定員を超える申し込みが多数あったため座席数を増やして対応し、参加された方

からは「よかった」または「大変よかった」という評価をいただきました。33番「香る文学講座」も、小泉八雲を題材にした講座です。焼津ゆかりの小泉八雲のコーヒーなどを制作している講師によるコーヒーの淹れ方講座のあと、ボランティアによる八雲作品の英語朗読を聴きながら、自分たちで淹れたコーヒーを楽しむ、という講座です。小泉八雲に関する本、コーヒーの本など、関連図書の展示、貸出も行いました。こちらも定員を少し超えましたが、希望する方にはすべて受講いただけました。中には「大井川図書館には初めて来た」という方もいましたので、来館者を増やすきっかけになったのではと思います。7ページ、下から8つめからは基本的にはどなたでも参加いただけました。40番、41番は「秋のスポーツ講座」です。40番は講師の都合により中止となりましたが、41番「トランポウオーク」は、中学生から80歳くらいまでの運動ができる方を対象に、1人1台のミニトランポリンを使って室内運動を体験していただき、図書館に通う運動不足の方にも楽しんでいただける講座となりました。大井川図書館については以上です。

両館共通の事業については8ページをご覧ください。22番はぬいぐるみおとまり会です。焼津図書館に15人、大井川図書館に8人が参加しました。対象は幼児から小学校低学年までのお子さんです。ひとりでお泊まりができるぬいぐるみが1体、図書館にお泊まりして、翌日以降にぬいぐるみがチェックアウトする際に、ぬいぐるみが選んだ本を1冊貸し出しました。23番は、ターントクルこども館との共催で行った事業です。今年度は、大井川図書館の展示室を会場としたボードゲームのイベントを2回行いました。両日とも、年齢を問わず、出入りを自由にしていただきましたので正確な来場者数は不明ですが、上段の「図書館でボードゲームをする日」には、大人・子ども合わせて約90人、下段の「ゲームズデイ」には50人以上の方に参加をいただきました。いずれも、世代を超えた地域交流の場として図書館をご利用いただけたのではないかと思います。なお、下段の「ゲームズデイ」は、大井川図書館が2025年の「ゲーミング図書館アワード」の大賞を受賞しましたので、その記念に開催したイベントです。24番、令和7年1月から開始した絵本定期便「やいづっこすくすくブッククラブ」についてですが、これは、公立の保育園及び幼稚園に通う園児の希望者に、月に1回、1人につき司書が選書した絵本2冊を個人貸出するもので、各園に届けた絵本を園児が各家庭へ持ち帰って、読み聞かせを楽しんでいただいています。令和7年度は、令和8年1月末時点で、のべ1,093人の園児に、2,186冊の絵本を貸し出しました。新しい取り組みとしては、25番「国立がん研究センターがん情報ギフト「結ぶ」事業企画公募採択による講演会」です。これは国立がん研究センターから採択を受けて実施するもので、今年度は全国で4カ所のみの実施となり、県内では当市が初めて実施しました。「正しくがんを知り、向き合うきっかけを」をテーマに、がんに関する特別講演会を2回行い、この他に、がん関連資料の展示・貸し出しを行う、特別企画を実施しました。以上が令和7年度の事業の報告です。

議長：事務局の説明は終わりました。何か質問等ございましたらお願いします。

久野委員：まず、第1回の協議会で要望した、新規、継続事業の別と、定員と実績が分かる一覧表にさせていただきありがとうございました。新規事業を沢山開催してくれていることがわかった。この中で、定員に対し実績が少ないものについては、次年度の開催を中止したりすることはあるのか。

事務局：参加人数が少なくても、育成や読書普及の観点から継続開催する講座もある。

村松委員：図書館の利用状況について、事務局から説明があったが、これは1月末時点の前年同日の数値を比較しているという認識でよいか。また、来館者数について全体の数字となっているが、季節によって数の変動があるのか。

事務局：統計数値については、村松委員の仰るとおり 1 月末時点の前年同日の数値を記載している。また、来館者数については、夏休みの長期休暇中は親子での利用が増え、来館者数も一年で一番多くなる。その後、秋には読書週間があるので、それほどの利用の落ち込みはなく、年が変わってから、日照時間も短く寒くなることから、利用者数が減少する傾向がある。

村松委員：事業報告を見ると、事業が大分沢山アップデートされている。その中でブックスタート事業については継続して行っていると思うが、子どもが本と出合う最初のきっかけになることから、もっと長い時間をとって親御さん達に声掛けや、親子で読書を楽しむきっかけづくりとして働きかけることはできないか。

事務局：ブックスタート事業については、今後も継続して行ってまいります。開催方法については、健康づくり課主催の事業である乳児検診に組み込む形で行っており、なかなか今以上の時間を確保するのは難しいと考える。

村松委員：ミニデイサービスへの出前おはなし会について、子どもだけではなく高齢者にとっても読み聞かせや朗読は、回想法に繋がり良い効果があると思われる。ミニデイに携わる人が自分たちで読み聞かせなどが出来るようになれば更にいいと思う。

事務局：ミニデイサービスへの出前おはなし会は要望があれば今後も対応していきたいと考える。

内田委員：赤ちゃんおはなし会やその他のおはなし会は、図書館職員が行っているのか、それともボランティアの方が行っているのか。

事務局：赤ちゃんおはなし会は、図書館職員が行っている。土曜日開催のおはなし会はボランティアグループの方と図書館職員が行っており、むかしばなしのへやはボランティアグループの方のみで行っている。

②令和 8 年度事業計画について

議長：次に、次第 3 の (2)、令和 8 年度の図書館事業計画について事務局の説明を求めます。

事務局：令和 8 年度 事業計画について報告いたします。資料 9 ページをご覧ください。初めに焼津図書館についてですが、令和 7 年度に実施した事業の継続が主となります。子ども向けの講座では 10 番「サイエンス講座」や 11 番「科学絵本講座」、12 番「こども図書館員講座」など学校の夏休み期間に開催するイベントについて、多くの応募があったことから、来年度についても講座の内容を講師と相談しながら本への関心を持つきっかけとなるような講座を開催していきたいと考えています。大人向けの講座についても、引き続き参加者の興味関心の高そうな、旬なテーマを幅広い分野から選択し、今後も実施していきたいと考えております。次のページ (10 ページ) をご覧ください。22 番「ブックリサイクル」についても、例年たくさんの方にご参加いただいております。引き続き定期的に開催する予定です。焼津図書館については以上です。

引き続き、令和 8 年度事業計画の大井川図書館分について報告いたします。11 ページをご覧ください。大井川図書館においても、令和 7 年度に実施した事業を継続開催するとともに、市民の皆様へ図書館に足を向けていただけるような魅力のある事業を企画し開催していく予定です。4 番の「親子ニコニコやいづっこべや」は、幼い子どもを連れて利用される方たちに、おすすめの絵本や、育児本を準備し、ゆっくり座って過ごせるよう整えた展示室を開放し、気軽に利用していただけるよう実施するものです。さらに、今年度試験的に導入した「ターントクルこども館から借用したおもちゃ」を会場に設置したことについても、大変好評だったため来年度も継続して実施していきたいと考えています。14 番の「文学講座」に関しても、今年度ご好評をいただいた「小泉八雲」を通じ

て市内を巡るフィールドワークなど、引き続き人気のあるテーマを取り入れていきたいと考えています。大井川図書館については以上です。

両館共通の事業については12ページをご覧ください。22番の「ターンクル子ども館とのコラボ事業の実施」は、焼津市の「子ども読書活動推進計画第3次計画」に基づいて計画されています。ターンクル子ども館「えほん」と、焼津図書館、および大井川図書館の3館が連携して事業を実施することで、相乗効果を生むように企画・開催していきたいと考えています。以上で、令和8年度の事業計画についてのご説明を終わります。

議長：事務局の報告が終わりました。みなさんの方から何か意見やご要望、ご質問等ございましたら、ご発言をお願いします。また、全体をとおしてのご質問やご意見等ありましたらお願いします。

議長：令和8年度の事業計画としては数が少ないが、令和7年度の事業報告を聞くと、ここに載っていない講座も計画してくれていることがわかる。少ない職員数ながら来年度も工夫をして事業を行って欲しい。

岩松委員：先程、久野委員が言っていた令和7年度事業は、学校図書館司書対象の本の整備・修理講座と思われる。学校図書館司書は長年携わっている人が多いので講座に参加する方が少ないのではないかと思った。このほか学校図書館に携わる方として父兄による図書館ボランティアがある。ボランティアの方が参加できると、活動できる仕事内容が増え、良いように感じた。

事務局：学校図書館向けの本の整備・修理講座ですが、始めたきっかけは図書館ボランティアの方の育成のため開催して欲しいとの要望によるもので前年度は10人の参加があった。今年度については前年度より開催時期が早かったため、参加できなかったとの意見もあった。来年度の開催も考えているので、学校側もボランティアの方に向けた周知への協力をお願いしたい。

久野委員：以前はブックリサイクルの際、雑誌の付録を貰えたように記憶しているが、最近は貰えない。雑誌の付録はどうしているのか。

事務局：現在、雑誌の付録は少なくなっている。焼津図書館では、赤ちゃんおはなし会に参加した親御さんへ、ある一定数以上参加したら粗品をプレゼントしているが、その際活用している。また、両館で年明けに開催している福ぶっくろにつける、ガチャポンくじの景品として活用している。

久野委員：焼津図書館ホームページの図書館協議会の会議録が上手く閲覧できない。トップページのアイコンをクリックしても繋がらない。検索を行うと閲覧できる。

事務局：ご指摘ありがとうございます。調査し、早急に対応します。

議長：その他、何かありますか。また、全体をとおして、皆さんからご意見がありますか。無いようでしたら、以上で議事を終了し進行を事務局に戻します。

(5)閉会